

2 無形文化財

No.	名称	員数	概要	所在地	保持者	指定(認定)年月日	指定・認定番号	最寄り駅(備考)
1	長板中型		染色技術。江戸期に江戸を中心に広まり、主に浴衣染めとして用いられる。表裏の模様が重なるように型付けするのが特徴。			昭30・11・1	埼玉指第60号	
				八潮市大瀬	初山 寛	(平16・3・23)	埼玉認第8-11号	つくばエクスプレス 八潮駅
				八潮市古新田	大熊敏男	(平16・3・23)	埼玉認第8-12号	つくばエクスプレス 八潮駅
				三郷市戸ヶ崎	恩田育男	(昭63・2・26)	埼玉認第8-9号	つくばエクスプレス 三郷中央駅
				三郷市戸ヶ崎	初山武雄	(平16・3・23)	埼玉認第8-10号	つくばエクスプレス 三郷中央駅
2	江戸木目込人形		工芸技術。桐塑の生地に衣裳に合わせて筋彫をし、そこに布地を木目込んで作る。第二次世界大戦時の空襲疎開により東京から岩槻に伝わる。	さいたま市岩槻区	岩槻江戸木目込人形技術保存会	平16・3・23 (追加認定) 平23・3・18	埼玉指第496号	東武野田線 岩槻駅